

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オートウェーブ
 コード番号 2666 URL <http://www.auto-wave.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役法務部長兼IR部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 廣岡 大介
 (氏名) 廣岡 耕平

TEL 043-250-2669

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 2,501 | △5.2 | △23 | — | 23 | — | △18 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 2,637 | △19.5 | △167 | — | △123 | — | △335 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △18百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △335百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | △1.36 | — |
| 23年3月期第1四半期 | △24.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 9,955 | 1,672 | 16.8 | 124.36 |
| 23年3月期 | 9,955 | 1,691 | 17.0 | 125.72 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,672百万円 23年3月期 1,691百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,065 | △7.2 | △155 | — | △65 | — | △70 | — | △5.20 |
| 通期 | 10,400 | △6.9 | △185 | — | 10 | — | 5 | — | 0.37 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 13,451,000 株 | 23年3月期 | 13,451,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 210 株 | 23年3月期 | 210 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 13,450,790 株 | 23年3月期1Q | 13,450,830 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による電力制限や物流網寸断などの復旧は進んでいるものの、依然として消費者の生活防衛意識や節約志向は解消されずに推移しております。カー用品業界におきましては、タイヤ値上げによる駆け込み需要やアナログ放送終了に伴うデジタル放送化により地デジチューナーやカーナビゲーションの需要が増加いたしました。しかしながら、景気の先行きは不透明なままとなっており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「平成23年度経営計画」に着手しております。この計画は、前連結会計年度の計画乖離を踏まえ、1店舗ごとの利益創出構造を確立させ、タイヤ、車検、車販売・買取、カーケアなどのメンテナンスを中心とした強化・拡大部門にリソースを集中し、経費の見直し・削減を継続するとともに、計画と実績の差異の検証を行い、原因と対策が打ち出せる月次評価を実行するものであります。更に組織を見直し、機動的な体制で取り組み、顧客満足度向上のための永続的かつ迅速的な工夫改善、地域性を生かした営業活動によりトップラインを確保することを課題としております。

商品別の売上高につきましては、車検が既存店前期比108.4%、車販売・買取が既存店前期比146.1%、板金が既存店前期比111.8%となるなど、堅調に推移いたしました。しかしながら、その他につきましては、既存店前期実績を割り込む形となったため、全体の売上高については、経営計画の水準を上回り堅調に推移したものの、既存店前期比2.7%の減収となりました。

商品別の粗利額につきましては、車検が既存店前期比108.4%、車販売・買取が既存店前期比181.3%、板金が117.7%となり売上高とともに好調に推移いたしました。その他の事業につきましては、売上高減少の影響をうけ粗利額も減少いたしました。全体の粗利額については、経営計画の水準を上回り堅調に推移し、粗利率が既存店前期比1ポイント改善したことにより、既存店前期比0.2%の増益となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は2,501百万円（前期比5.2%減少）、経常利益は23百万円（前期比146百万円改善）、四半期純損失は18百万円（前期比316百万円改善）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,955百万円（前期末9,955百万円）となりました。負債は8,282百万円となり、前連結会計年度末比18百万円（0.2%）の増加、純資産は1,672百万円で、前連結会計年度末比18百万円（1.1%）の減少となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント減の16.8%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、536百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、25百万円（前年同四半期は201百万円の支出）となりました。資金の主な増加項目は、仕入債務の増加107百万円、減価償却費56百万円であり、資金の主な減少項目は、たな卸資産の増加73百万円、未払消費税等の減少43百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、1百万円（前年同四半期は30百万円の支出）となりました。資金の主な減少項目は、預り保証金の返還による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出8百万円であり、資金の主な増加項目は、敷金及び保証金の回収による収入28百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1百万円（前年同四半期は3百万円の収入）となりました。これは、長期借入による収入5百万円、長期借入金の返済3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月20日で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度まで5期連続の経常損失及び当期純損失を計上しました。当第1四半期連結累計期間においても、四半期純損失を計上しております。

また、平成23年5月31日に全ての取引金融機関と「債権者間協定書」を締結したことで、平成24年7月31日までの支援の継続を受けることができました。

しかしながら、当社グループは、「平成23年度経営計画」を実行中ですが、事業環境の悪化や収益体質への転換が進まない場合もあり、現時点では継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 510,892 | 536,183 |
| 受取手形及び売掛金 | 328,080 | 323,433 |
| 商品及び製品 | 668,469 | 741,628 |
| その他 | 150,369 | 196,253 |
| 貸倒引当金 | △831 | △2,220 |
| 流動資産合計 | 1,656,980 | 1,795,278 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 4,829,814 | 4,737,470 |
| 減価償却累計額 | △1,622,001 | △1,602,167 |
| 建物（純額） | 3,207,812 | 3,135,303 |
| 土地 | 2,512,186 | 2,512,186 |
| その他 | 1,177,825 | 1,162,059 |
| 減価償却累計額 | △922,771 | △914,236 |
| その他（純額） | 255,053 | 247,822 |
| 有形固定資産合計 | 5,975,052 | 5,895,312 |
| 無形固定資産 | 37,484 | 38,022 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 2,081,980 | 2,030,631 |
| その他 | 223,101 | 209,833 |
| 貸倒引当金 | △43,384 | △34,362 |
| 投資その他の資産合計 | 2,261,697 | 2,206,102 |
| 固定資産合計 | 8,274,234 | 8,139,437 |
| 繰延資産 | 24,348 | 20,648 |
| 資産合計 | 9,955,563 | 9,955,364 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 472,589 | 579,898 |
| 短期借入金 | 2,769 | 52,040 |
| 未払法人税等 | 16,208 | 6,588 |
| 賞与引当金 | 7,710 | 11,120 |
| ポイント引当金 | 21,279 | 18,978 |
| 事業構造改善引当金 | 19,200 | 13,700 |
| 訴訟損失引当金 | 22,000 | 22,000 |
| その他 | 549,227 | 508,546 |
| 流動負債合計 | 1,110,982 | 1,212,871 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,203,385 | 5,155,361 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,301,840 | 1,281,467 |
| 資産除去債務 | 387,160 | 389,309 |
| その他 | 261,106 | 243,610 |
| 固定負債合計 | 7,153,493 | 7,069,749 |
| 負債合計 | 8,264,475 | 8,282,621 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,418,675 | 1,418,675 |
| 資本剰余金 | 1,579,319 | 1,579,319 |
| 利益剰余金 | △1,306,751 | △1,325,094 |
| 自己株式 | △155 | △155 |
| 株主資本合計 | 1,691,087 | 1,672,743 |
| 純資産合計 | 1,691,087 | 1,672,743 |
| 負債純資産合計 | 9,955,563 | 9,955,364 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,637,647 | 2,501,180 |
| 売上原価 | 1,786,745 | 1,666,144 |
| 売上総利益 | 850,901 | 835,036 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,018,419 | 858,509 |
| 営業損失(△) | △167,518 | △23,473 |
| 営業外収益 | | |
| 附随業収入 | 171,836 | 175,896 |
| 受取手数料 | 25,523 | 28,554 |
| その他 | 15,287 | 12,252 |
| 営業外収益合計 | 212,647 | 216,703 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30,389 | 30,080 |
| 附随業原価 | 133,539 | 135,619 |
| その他 | 4,687 | 4,204 |
| 営業外費用合計 | 168,616 | 169,904 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △123,487 | 23,325 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,639 | 40,412 |
| 減損損失 | 18,856 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 192,499 | — |
| その他 | — | 252 |
| 特別損失合計 | 214,995 | 40,665 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △338,482 | △17,340 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,960 | 3,141 |
| 過年度法人税等戻入額 | △4,791 | — |
| 法人税等調整額 | △1,344 | △2,138 |
| 法人税等合計 | △3,174 | 1,003 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △335,307 | △18,343 |
| 四半期純損失(△) | △335,307 | △18,343 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △335,307 | △18,343 |
| その他の包括利益 | | |
| その他の包括利益合計 | — | — |
| 四半期包括利益 | △335,307 | △18,343 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △335,307 | △18,343 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △338,482 | △17,340 |
| 減価償却費 | 76,110 | 56,671 |
| 減損損失 | 18,856 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 4,290 | 3,410 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 642 | △7,632 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 3,037 | △2,301 |
| 事業構造改善引当金増加額(△は減少) | △55,149 | △5,500 |
| リース資産減損勘定取崩額 | △29,990 | △7,879 |
| 受取利息及び受取配当金 | △963 | △109 |
| 支払利息 | 30,389 | 30,080 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 3,639 | 40,412 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 192,499 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 4,526 | 4,647 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △63,738 | △73,159 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △63,173 | 107,309 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 90,597 | △43,049 |
| その他 | △3,810 | △2,750 |
| 小計 | △130,721 | 82,809 |
| 利息及び配当金の受取額 | 963 | 223 |
| 利息の支払額 | △56,130 | △55,715 |
| 法人税等の支払額 | △15,604 | △1,900 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △201,494 | 25,416 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △29,451 | △8,880 |
| 貸付資産売却に伴う原価振替額 | 43,402 | 471 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,677 | △5,206 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △57,487 | △318 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 37,299 | 28,231 |
| 預り保証金の返還による支出 | △18,629 | △20,373 |
| 貸付金の回収による収入 | — | 5,467 |
| その他 | △1,325 | △761 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △30,869 | △1,371 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 10,000 | 5,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △6,328 | △3,753 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,671 | 1,247 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △228,692 | 25,291 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 530,740 | 510,892 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 302,048 | 536,183 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度まで5期連続の経常損失及び当期純損失を計上しました。当第1四半期連結累計期間においても、四半期純損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、「平成23年度経営計画」に着手しております。この計画は、前連結会計年度の計画乖離を踏まえ、1店舗ごとの利益創出構造を確立させ、タイヤ、車検、車販売・買取、カーケアなどのメンテナンスを中心とした強化・拡大部門にリソースを集中し、経費の見直し・削減を継続するとともに、計画と実績の差異の検証を行ない、原因と対策が打ち出せる月次評価を実行するものであります。更に組織を見直し、機動的な体制で取り組み、顧客満足度向上のための永続的かつ迅速的な工夫改善、地域性を生かした営業活動によりトップラインを確保することを課題としております。

また、平成23年5月31日に全ての取引金融機関と「債権者間協定書」を締結したことで、平成24年7月31日までの支援の継続を受けることができました。「平成23年度経営計画」では、今後一年間の資金繰りに問題はありません。

しかしながら、当社グループは、これらの対応策を実行中ですが、事業環境の悪化や収益化体質への転換が進まない場合もあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(5) セグメント情報等

当連結グループは自動車用品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。